



## 「地域とともに歩む技術支援機関をめざして」

商工労働部長 布袋 嘉之

このたび、4月1日付けで商工労働部長に就任しました布袋です。

県内企業及び関係団体の皆様には、県商工労働部及び工業技術センター等の施策に関しまして、かねてから多大な御協力、御支援をいただき深く感謝申し上げます。

我が国の経済は、企業収益が大幅に減少し、雇用情勢も急速に厳しさを増す中で、生産は下げ止まりつつあります。

しかし、県内の経済については、依然として生産が急激に減少しているほか、雇用情勢が悪化し、個人消費も弱い動きとなっているなど、景気は低迷しております。

このような中、本県におきましては、平成20年度3月補正予算、平成21年度当初予算さらに今回の平成21年度6月補正予算に必要な事業を計上し、県内の景気動向にも配慮しつつ、雇用・経済対策に積極的に取り組んでいるところであります。

また、今年11月には本県産業に活力をもたらす契機とするため、本県の商工業や特産品などのPR、商談会やシンポジウムなどを内容とする「かごしま産業おこしフェア2009」を開催することとし、県内の産業関係の機関・団体の方々と実行委員会を組織し、実施に向けて準備を進めております。

このフェアの一環でありますシンポジウムでは、本県に豊富に賦存する「シラス」をテーマに意見交換を行うとともに、工業技術センターと企業が共同開発した新製品・新技術の展示・紹介も行うこととしております。

工業技術センターは、皆様の「技術的拠りどころ」として、多様化するニーズや市場動向等の的確な把握に努め、地域の特性・資源を生かしながら、技術的課題等に即応できる研究開発に取り組

むとともに、地元企業等との共同研究や技術移転等を積極的に推進し、本県産業の技術の高度化や高付加価値化へ寄与することをその役割としています。

このため、今年度は、主要な研究事業として、地域資源の高度利用、新素材・新材料開発など6分野から、「微小金属部品の高効率成形加工に関する研究」など5テーマ、県内中小企業に対する一歩先の技術の提供をめざす技術創出（シーズ創出）研究として「奄美群島の伝統文様の図形化と用途開発に関する研究」など5テーマ、中小企業のニーズ等に迅速かつ的確に答える技術高度化（ニーズ対応）研究として「室内環境を改善する多機能住宅用建材の開発」など7テーマを実施するとともに、「九州各県工業系公設試の連携に関するビジョン」に基づく共同研究等4テーマを実施するほか、公募提案型受託研究や地域企業等との共同研究に取り組むこととしております。

最近の研究成果としましては、黒糖焼酎の製造工程の省力化等を図る研究開発成果を使って黒糖焼酎メーカー2社から新商品が発売され、また鹿児島島のシラス台地を形成する普通シラスからシラスバルーンを自動的に製造するシラスバルーン製造装置の開発に成功するなど着実に実績を積み重ねてきております。

同センターにおいては、新製品開発や技術的課題の解決を支援するとともに、県内の技術者、研究者の養成に努めるなど、引き続き、各種団体等との連携を図りながら、技術支援機関として本県産業の振興・発展に貢献してまいりたいと考えております。

皆様におかれましても、工業技術センターを積極的に活用していただき、新事業や新産業の創出に結びつく研究開発に取り組み、本県地域経済の活性化につなげていただきたいと考えております。